

# 北海道新聞

2007年  
7月2日月

発行所  
北海道新聞社

〒060-8711

札幌市中央区大通西3丁目6

電話 011-221-2111

読者センター  
電話 011-210-5888

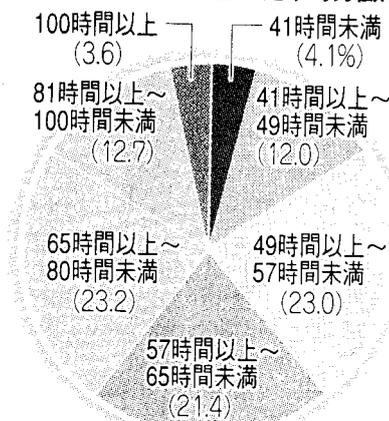
ホームページ  
www.hokkaido-np.co.jp

©北海道新聞社 2007

## 道内の自治体病院勤務医

# 労働週65時間以上 4割

### 道内自治体病院勤務医の週平均労働時間



道内の自治体病院に勤務する医師の四割が、一週間の平均労働時間が六十五時間以上に達し、「過労死ライン」を超える長時間労働となっていることが、全国自治体病院協議会北海道支部の初めての調査で分かった。過重労働による健康不安や医療ミスの懸念を訴える声は強く、関係者は「医師数の確保など、国は早急に対策を」と訴えている。

調査は今年三月、同支一六病院のうち、協力を得た一医約千八百人を対象に行われた。一部に加盟する道内百二十一人、五十九人から回答。一週間の平均労働時間

### 過労死ライン△

は、「六十五時間以上八十時間未満」が23・2%で最も多く、「八十一

時間以上～百時間未満」が12・7%。「百時間以上」も3・6%に上り、六十五時間以上の合計は39・5%だった。

法定労働時間は週四十時間と定められており、それを超える時間外労働が月百時間か、二一六カ月平均で八十時間を超えると過労死の危険性が高いとされ、国などが労災を認定する際の判断基準

の一つとなっている。労働時間が週六十五時間以上だと時間外労働は月百時間以上になる計算だ。

夜間当直をしている医師は79・5%で、一カ月の平均回数は「二一三回」が29・7%、「五回以上」が22・0%だった。当直勤務中の仮眠は「一十二時間」「ほとんど寝られない」が合わせて30・1%に上り、ほとんどの医

師が翌日もそのまま通常勤務していた。

長時間労働の要因を複数回答で聞いたところ、「患者数、診療内容の増加」を一番に挙げる医師が圧倒的に多かった。また、長時間労働の影響複数回答では、三百十六人が「健康の不安」、百九十三人が「医療ミスを誘因」を一番に挙げた。

同協議会北海道支部長の小熊豊・砂川市立病院長は「医師を増やして労働実態を改善しようと思っても、現状では余っている医師がいらない上、病院経営も成り立たない。国は医師の絶対数を増やすとともに、診療報酬体系を見直すべきだ」と話している。

## 医療ミス誘因 懸念も

同協議会北海道支部長